

まちの目記帳



地元小学生に漁業体験学習

—第4回水産教室—

1/23

東しゃこたん漁業協同組合積丹支所青年部（角田拓也部長）が主催する水産教室が余別地区コミュニティセンターで行われました。

この取り組みは、同青年部が恵まれた自然環境で育った地元の子どもたちに漁業や海について知ってもらう機会を企画し、継続して実施しているものです。

今年で4回目となった今回の教室のテーマは、タコ漁について。

日司小学校と余別小学校の児童17人が参加しました。青年部員自らが講師となり、タコ漁の方法や仕掛けについての学習を行い、参加した児童は終始真剣に話を聞いていました。

また、昼食では同女性部の協力により捕れたタコを調理しての試食も行われました。

この活動は、NPO法人北海道みなとの文化推進機構の助成を受けて開催されました。



上達は基礎から

—ジュニアスキー教室—

1/16

町教育員会が主催するジュニアスキー教室が、スキーの楽しさを理解することを目的に地元の有資格者10人の指導のもと行われました。

参加した小学1年生～3年生までの児童32人は、講師の話を聞きながらロープトウの乗り方など基礎的なことから指導を受けました。

当日はあいにくの吹雪となりましたが、悪条件にもかかわらず途中で棄権する子供もなく、全員が最後まで熱心に練習に励んでいました。



赤鬼登場に園児大興奮

—びくに・みなと保育所、子育て支援センター節分祭—

2/3

びくに・みなと保育所と子育て支援センターで、恒例の節分祭が行われました。

園児たちは、色とりどりの鬼のツノやお面を作り、その出来栄に満足気な様子。上機嫌の園児たちも、赤鬼の登場に空気は一変しました。

泣きながら逃げ回る子どもも勇敢に立ち向かう子どももなど様々でしたが、最後には「これからもいい子でいます。」と、赤鬼と固い約束を交わしていました。



▲子育て支援センター

.....【冬の積丹】魅力発信！.....

各地で観光PR

ー全国・世界に向けてー

2/6・7 ・ 2/11

通年観光に結びつけることを目的に各地で冬の積丹観光のPR活動を行いました。

6日(土)・7日(日)は、観光協会、岬の湯しゃこたん、観光公社や町内旅館業者など総勢11人がJR札幌駅とサッポロ・ビール園で観光パンフレットと鮭トバのセットの配布や「浜なべ」の無料提供を行いました。

札幌雪まつりが開催され、全国各地からたくさんの観光客が訪れた会場では、用意した熱々熱々の浜なべ800杯分が提供開始からわずか1時間程度ですべてなくなるなど、全国に向けて積丹観光のPRを行いました。

11日(木)には、観光協会や観光振興公社など15人が倶知安町ひらふ地区で外国人観光客向けに『丹水』の無料試飲を行いました。

熱燗にした『丹水』を一気に飲み干した外国人観光客からは「グッド！」と高い評価となりました。

このほか、積丹と入れたオリジナルの手ぬぐいと観光パンフレット等のセットを配り、積丹観光の魅力を世界に向けて発信しました。



▲サッポロ・ビール園



▶倶知安町ひらふ地区



2010しゃこたん夢あかり ー今年も力作が勢ぞろい！ー

2/13

今年で7回目となる町商工会（青年部・女性部）主催の『しゃこたん夢あかり』が13日(土)に開催されました。

今年も趣向を凝らしたたくさんの雪像が家々の玄関前を彩り、午後5時の合図と同時に火の灯されたスノーキャンドルは、幻想的な明かりでまちを包みました。

メイン会場となった美国町中央交差点では、商工会青年部のココアや焼き鳥の無料提供、同女性部から甘酒の無料提供や暖かいそばの販売が行われ、用意した100食分のそばは完売するなど盛況でした。



まちの日記帳